

基本理念 楽しさ自給率の高いまちへ

目指すべき将来像	ひと まちを愛し 自ら支える 人であふれる まち	しごと 多様な働きが 生まれる・ 見つかるまち	くらし 心身ともに 安全・安心を 実感できるまち	なかま みんなが つながり合い 思い合うまち	めぐみ 自然に寄り添い 自然を 活かすまち	
	将来像のための 基本目標	未来のまちを 支える ひとづくり	働き甲斐が 感じられる しごとづくり	生涯を通じて 幸せを感じる くらしづくり	手を取り 助け合う なかまづくり	地域のほごりや 顔となる めぐみづくり
	目標達成への 取り組み	『住み始め』 若者や女性が住みたいと 感じる環境の整備 若者が働き甲斐を感じる 雇用の創出	『住み慣れ』 女性がいきいきと 暮らせる環境づくり ふれあいと繋がりのある 身近な地域づくり	『住み続け』 支えあいと助け合いのある 地域づくり 将来にわたって健やかに 暮らせる環境づくり		



▲大山町総合計画審議会

みんなでめざしたい まちの「将来像」

住民・団体・企業・行政が連携してまちづくりに取り組んでいくためには、どこをゴールにして進んでいくのかという将来像のイメージを共有することが大切です。

10年プランでは、大山町の10年後の将来像を5つの視点でまとめました。

この5つの視点が表示「どこをめざして進んでいるのか」に常に立ち戻りながら、一つひとつの取り組みを積み重ね、大山町の理想の未来につなげていきます。

①ひとの視点

まちを愛し、自ら支える人であふれるまち

歴史や文化の豊かな土壌を、思う存分楽しむ環境を生み出すことで、心から大山町が好きだと言える、大山町で暮らしが楽しいと言える、そんな人であふれるまちをめざします。

②くらしの視点

多様な働きが生まれる、見つけるまち

今ある産業をさらに魅力的に、元気にしていくとともに、新しい時代のニーズに即し、生きる喜び、働く楽しさにつながる仕事が生まれるまちをめざします。

③なかまの視点

心身ともに安心・安全を実感できるまち

目に見えない「しくみづくり」と、目に見える「かたちづくり」の両方を通して、いくつになっても、心身ともに安心安全を実感して楽しく誇りを持って暮らすことのできるまちをめざします。

④なかまの視点

みんながつながり合い、思い合うまち

近所の住民が普段からお互いを大切に思い、気にかけてあえる関係性が築かれていること、そして、その関係性を活かして楽しく地域に関わり、自分たちで地域を支えることがあたりまえになっているまちをめざします。

⑤めぐみの視点

自然に寄り添い、自然を活かすまち

自然の恵み豊かな暮らしのありがたさを実感し、自分たちの力でその資源を守り・活かすまち、住民一人ひとりが自然を満喫し、自然と共に生きる暮らしを楽しむまちをめざします。

現在『総合計画』の冊子を印刷中です。完成次第、町民の皆さまにお届けします。また、ホームページにも計画内容を掲載します。

◆問い合わせ先

企画情報課

☎0859・54・5202